

令和4年度 椎葉村立大河内小学校校 学校経営ビジョン

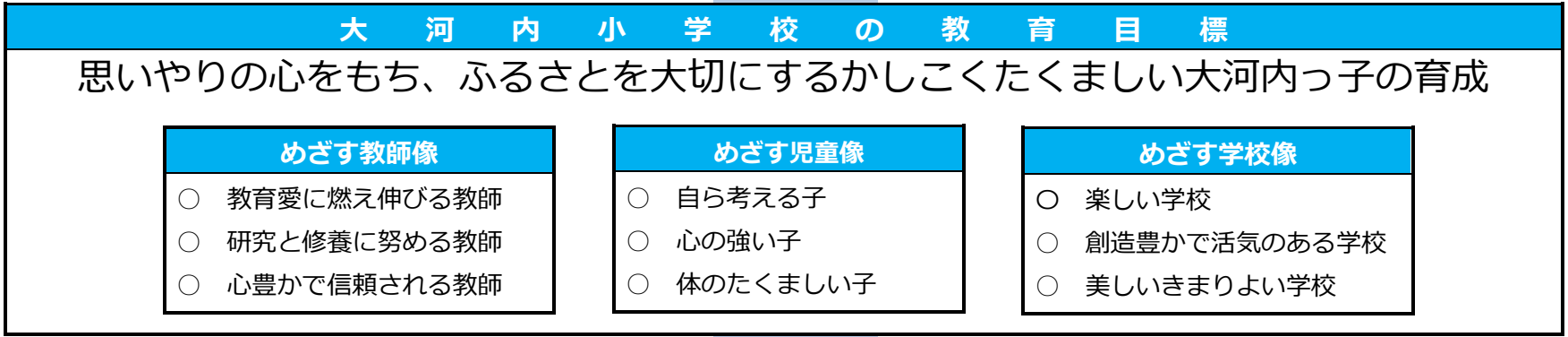
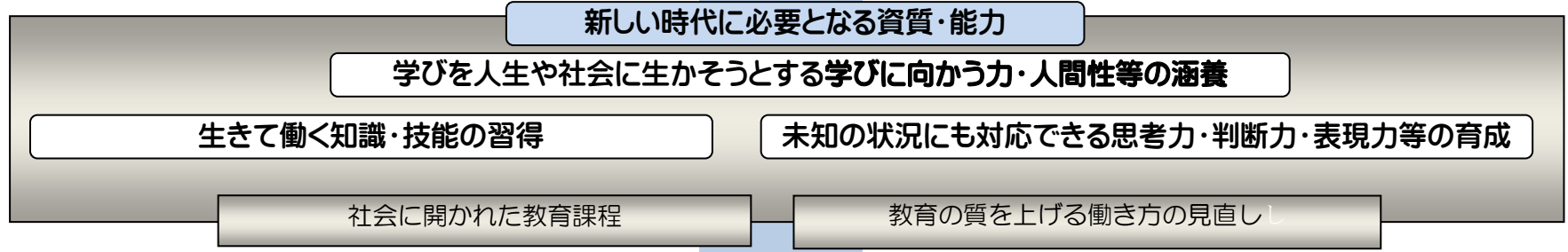


椎葉村の教育基本方針・基本目標・重点施策

椎葉村で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りをもち、将来の夢をもってたくましく生きるこどもを育成する。

【椎葉村の子どもたちに身に付けさせたい力】

- 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力
- 自分の思いや考えを表現し、他者と積極的にコミュニケーションを図る力
- 自分を大切に、他と共に生きる力
- 夢をもち、目標に向かってねばり強く努力する力
- 国際感覚を身に付け、地域の発展に尽くそうとする力



学校経営ビジョン

- 「徳育」**コミュニケーション能力の育成**と「知育」**学力向上**を最重点目標に据える。
- 職員が愛情と情熱をもち、家庭や地域と連携を図りながら、組織的に全力で取り組む。
- 保護者や地域住民の信頼と期待に応え、大河内小の子ども、教師、保護者が自分や学校、地域に自信と誇りがもてるようになるための学校経営を行う。

【<キャッチフレーズ> 「人とのかかわりの中で、未来の創り手となる子どもを育む」】

	本年度の重点目標と目標達成のための手段、具体的な取組	具体的な数値目標等
人間性・社会性の育成 	【目標】 感性を磨き、自分の思いや考えを的確に伝えるコミュニケーション能力等の豊かな人間性や社会性を身に付けさせる。	
	①道徳教育の推進 ○「特別の教科 道徳」の充実 ○全教育活動を通じた道徳教育の実施	・道徳科実施 100%
	②生徒指導や人権教育の充実 ○自己指導能力の育成 ○教育相談の充実 ○人権感覚の向上 ○ 全校話し合い活動の新設	・いじめ・不登校解決 100% ・ 全校話し合い活動（年6回）
	③読書活動の推進 ○読み聞かせや家庭での親子読書のすすめ（ 読書週間の実施 ）	・読書量前年比プラス（個人）
授業力向上と学力向上 	【目標】 学校の指導体制を整備し、授業力を高め、児童の学力を向上させる。	
	①「分かった・できた」と実感できる授業の実践 ○4つのチェックポイントとカリキュラムマネジメントを生かした授業実践 ○読解力を高める工夫 ○主体的・対話的で深い学びの授業実践 ○ICTを活用した授業等新しい教育活動への積極的な取組（ 遠隔授業の実施 ）	・学力調査分析全学年 100% ・タブレット活用 100% ・ 遠隔授業（各学年年6回以上）
	②基本的学習習慣の徹底 ○立腰指導の徹底 ○「聞く」「話す」態度の育成 ○家庭との連携を図った学習の習慣化	
	③複式解消や個別指導の工夫 ○支援体制づくり（2年国語） ○業間・放課後の活用（基礎基本、活用問題）	
健康・安全と体力向上 	【目標】 体力・健康づくりの活動を充実し、食育・安全教育を推進し、児童一人一人に望ましい習慣や実践力を身に付けさせる。	
	①体力向上プランの完全実施 ○教科体育の充実（ 運動技能の向上のための指導 ） ○体育的行事の工夫 ○運動の日常化（一校一運動、業前・業間活動の活用、運動の機会の拡大他）	・体力向上プラン目標達成率 80%アップ
	②健康教育の充実 ○ 新型コロナウイルス感染症への対応（マニュアルに沿った対策の実施） ○保健衛生習慣の定着 ○生活リズムの形成（ ノーメディアデーの実施 ）	・ 感染症対策の徹底 ・むし歯治療率 100%
	③食に関する指導の充実 ○食物アレルギー等指導の充実 ○給食指導の充実（給食感謝集会の実施） ○家庭との連携の工夫（弁当の日等）	・弁当の日の各家庭での実施率 100%
家庭・地域の連携・協働 	【目標】 学校と家庭・地域との連携を通じた教育活動を推進し、地域から信頼される学校づくりを行う。	
	①地域を生かした学習の充実 ○地域素材・人材の積極的活用（ 遠隔授業の実施 ） ○地域を学習の場とする活動の実施（農業体験、川での学習等）	
	②学校と家庭・地域の一体活動の充実 ○学校図書館の開放 ○地域の伝統芸能及び文化の習得 ○家庭や地域への啓発活動（各種たより） ○合同運動会や持久走大会の実施	
	③地域の学校支援活動の充実 ○学校評議員や地区役員、集落支援員との連携や地域人材バンクの活用	
④地域から学校運営への参画促進 ○実効性のある学校評価やマネジメントの推進、 ○学校運営協議会発足の準備		

